

第三回農業戦略本部

平成28年 9月14日

会議録

場 所	委員会開催室
参加者	参加者 : 市長、山形市農業協同組合 代表理事組合長、山形農業協同組合 代表理事組合長、山形市農業委員会 会長、女性農業者 代表、山形大学農学部 教授、山形大学東北創生研究所 准教授、J A全農山形 園芸次長、やまがた農業支援センター 専務理事 事務局 : 農林部長、農政課長、農業振興総括主幹、農政企画係長、営農改善係長、農産係長、担い手育成係長、地域農業係長 主幹 (農業振興計画担当) オブザーバー : 山形市農協 経済部長

○市長より

今回は東京青果の戸塚部長よりプレゼンテーションを行っていただき、マーケットから見える農産物の振興という視点を持ちながら、「戦略農産物」をご決議いただいております。

本日は、前回決議された「戦略農産物」の決定事項をいかに推進していくかをご討議いただければと思います。よろしくお願いいたします。

1 議題

【討議事項】

- (1) 山形市戦略農産物の決定事項の推進について

【決議事項】

- (1) 農業戦略本部プロジェクトチームの設置について

【報告事項】

- (1) 山形市の新規就農者の育成・確保について
- (2) 山形市農政課の補助事業について

【討議事項】

- (1) 山形市戦略農産物の決定事項の推進について

【決議事項】

- (1) 農業戦略本部プロジェクトチームの設置について

○関連事項のため一括して、農政課長より、資料に基づき説明があった。

○決議事項

- (1) : 原案通り決定

・戦略本部での討議内容などをプロジェクトチームで検討する位置づけとなる。

【報告事項】

- (1) 山形市の新規就農者の育成・確保について
- (2) 山形市農政課の補助事業について

○農政課長より、資料に基づき説明があった。

○主な意見等

◆ 新規就農者の確保について

- ・山形市内での大学・高校生対象の新規就農に向けた就農情報を行ってみてはどうか。
- ・新規就農者のワンストップ窓口を開設することで、申込者の利便性を考える
- ・大学生にジャガイモ掘のアルバイトを募集しているが、学生側が求める求人ではない。ただ、農業に興味がある人はいるので、農家とのマッチングできる仕組み作りが重要となる。
- ・学校側での農業体験は昔ながらの手作業をイメージしているが、現在の農業は高度に機械化されていることも教える必要がある。
- ・他市町村の新規就農の成功例・失敗例を参考にしてみてもどうか。
- ・農業の分野にもキャリアデザイン・人生設計の必要性がある。
- ・新規就農者をどの年代をターゲットしているかで、戦略も変わってくるのではないかと。

◆ 新規就農者の育成について

- ・新規就農者をJAなどで受け入れ、研修後に独立できるような仕組みを確立させる必要があるのではないかと。
- ・新規就農後どのように定着させるのか、ネットワークづくりも必要ではないかと。

◆ 山形市農政課の補助事業について

- ・次回戦略本部にて具体的な補助事業を検討していく。